

## (2) 絆と交流の地域づくり

### <現状分析・課題>

- ▼ 前記(1)により移住・定住を促進するに当たっては、地域のことを知り、訪れ、更に深く知っていただけるような取組も重要となります。そのために次のような現状や地域特性等を踏まえ、自然、文化、地域の食などの地域資源を生かした交流の拡大と関係人口の創出を進めていく必要があります。

- ・観光入込客数及び観光消費額は増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響を受けています。

|        |             |          |
|--------|-------------|----------|
| 観光入込客数 | 平成26(2014)年 | 371万人    |
|        | 令和元(2019)年  | 419万人    |
|        | 令和3(2021)年  | 192万人    |
| 観光消費額  | 平成26(2014)年 | 5,880百万円 |
|        | 令和元(2019)年  | 7,434百万円 |
|        | 令和3(2021)年  | 4,096百万円 |

- ・一方で、コロナ禍における生活様式の変化に対応して、密を回避しやすい屋外でのレジャー、個人・家族など少人数でマイカーを利用した旅行が好まれるなど、観光スタイルにも変化の傾向が表れており、今後は、新たな観光の価値やサービスの創出、地域と連携した観光資源の磨き上げの取組を進めていく必要があります。

- ・地域への継続的な関心と交流を通じて、様々な形で地域を応援していただける方を増やし、関係人口の創出につなげる農観連携の取組の中では、地域特性を生かした体験を宿泊者に提供できる農家民宿は年々増加して44軒を数え、教育体験旅行等の受入れも進んでいます。

- ▼ 地域や国境を越えたヒト・モノ・情報等の交流が活性化する中で、交流等を支える基盤の整備と更なる利活用の推進、地域への効果波及を図る必要があります。

- ・京都舞鶴港では、新型コロナウイルス感染症の影響により、コンテナ取扱量やクルーズ船寄港回数について、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響を受けています。

|                  |             |           |
|------------------|-------------|-----------|
| コンテナ取扱量(空コンテナ含む) | 平成26(2014)年 | 11,985TEU |
|                  | 令和元(2019)年  | 19,812TEU |
|                  | 令和3(2021)年  | 18,063TEU |
| クルーズ船寄港回数        | 平成26(2014)年 | 15回       |
|                  | 令和元(2019)年  | 34回       |
|                  | 令和3(2021)年  | 4回        |

- ・ポートセールスの強化等により需要の回復に向けた取組が進められていますが、今後も、西港は大型クルーズに対応したクルーズターミナルや対岸諸国を結びコンテナや木材等を取り扱う国際貿易港、東港は近畿圏と北海道を結ぶ長距離フェリーを中心とする国内貿易港として、その機能やアクセス性を向上させる港湾整備を進めていきます。
- ・令和4（2022）年10月には「みなとオアシス京都舞鶴うみとびら」が、港の賑わい拠点となる「みなとオアシス」として登録され、京都舞鶴港を拠点とした地域住民の交流促進や地域の魅力向上が図られることが期待されます。
- ・鉄道網に加え、舞鶴若狭自動車道、京都縦貫自動車道の開通・延伸や4車線化が進み、アクセスと利便性の向上が図られてきています。

## ア 自然や地域文化等の地域資源を生かした交流の拡大と関係人口の創出

### ■ 中丹地域の魅力を広域的に発信し、国内外からの誘客を促進します。

- 大河ドラマや食の京都などの取組を通じて構築したメディアネットワークを活用し、中丹地域の特色ある食、文化、歴史、自然など観光コンテンツの情報を広域的に発信します。
- DMOによる旅行商品創出への参画やプロモーションなどの魅力発信により、全国からの観光客を中丹エリアへ呼び込みます。
- 人流、口コミ、宿泊予約データ等の観光データの収集・分析により、観光ニーズにあったプロモーション等を行うことで、効果的な誘客を展開します。
- 新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンド回復を見据え、インバウンド向けコンテンツの磨き上げや受入環境整備、情報発信を支援します。
- クルーズ船の京都舞鶴港への寄港に当たって、DMO等との連携による船社への現地ツアープランの提案や、市や関係機関等との連携による港周辺部のまちなか滞在プログラムの創出・提供等を通じて、クルーズ客等の地域への回遊・観光消費拡大を促進します。
- 丹波くり等の農林産物や歴史・伝統文化等の丹波ブランドを生かし、大丹波連携推進協議会やDMO及び関係市町と連携して食の魅力を発信するとともに、広域的な誘客促進を図ります。
- 「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」「ワールドマスターズゲームズ関西」などの国際的なイベントを契機として、中丹地域への誘客促進を図るとともに、来訪者が地域内に滞在・周遊できる施策を展開します。
- 管内3市や企業、学校等と連携し、令和3（2021）年2月に開設したまとめサイト「CO-KYOTO」（こきょうと）や各種メディアを通じて、中丹地域の子育て、働

き方、移住、観光・イベント、季節の特産品等の地域情報を管内3市で生まれ育った出身者をはじめ、進学や、転勤、長期出張等ゆかりの方々に対して発信します。(再掲)

■由良川や大江山等における観光・スポーツ交流を推進します。

- 京都府中北部のトレイルコース(森林や原野・里山などにある遊歩道)やサイクリングコースを一体的に魅せるプロモーションや、大江山連峰トレイルにおけるモデルツアーの実施等「京都縦貫トレイル」の推進により、地域への誘客促進を図ります。
- 「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」で高まったスポーツへの関心や健康志向、アウトドア志向の高まりを捉え、由良川でのカヌーや大江山、君尾山でのトレッキングなど、自然に親しむアクティビティの充実を図るとともに、幅広い年齢層が気軽に楽しむことができる電動アシスト自転車(e-bike)を活用した体験コンテンツの創出に取り組みます。
- DMO等と連携し、地域資源を生かした魅力的な滞在プログラムの構築等により観光客の滞在時間の延長を図るとともに、地域特性を生かした農家民宿・ゲストハウスなど宿泊施設の開業を支援します。
- DMO等と連携し、電動アシスト自転車(e-bike)やカーシェアリングなどを活用した観光周遊を促進します。

■地域の行事や文化活動等を生かした交流や、農泊や農業体験ツアーなど農観連携を進め、地域のファンを拡大します。

- 文化庁の京都移転を契機に、文化の保存・次代への継承から発展・新たな創造・発信・活用までを推進し、地域の文化創造と継承を図ります。
- 「地域アートマネージャー」による地域の文化団体等との連携、支援や「アーティスト・イン・レジデンス」活動、アーティスト作品の展示や府民参加型の音楽祭など文化を活用した地域づくりや、人と人との交流の拡大を進めます。
- 文化団体等が主催する各種公演会・発表会等において、次世代への継承や発信力強化の取組を支援します。
- 管内各地で実施される祭りや伝統芸能等の地域行催事をより多くの人に周知し、当日の参加やボランティア等の担い手が確保できるよう、DMOと連携し、情報発信等に関する支援を行います。
- 農家民宿魅力向上の取組の中で創設した「農家民宿村」において、年間を通じた新たな体験コンテンツの開発等により、インバウンド需要の回復も踏まえたサービス・経営等のグレードアップや情報発信を支援します。
- 交流等を通じて地域のファンを拡大し、地域外住民による「地域応援団」の形成を図ります。

- 農業体験や山遊び体験、地引き網体験、クラフト体験（和紙、漆工芸等）など、農山漁村の資源を活用する交流体験プログラムをパッケージ化し、誘客促進を図ります。
- 「京都モデルフォレスト運動」のボランティア活動を森に親しむ体験の機会としてPRし、賛同する企業やボランティア団体、地域住民など多様な主体の参加交流を促します。

## イ 地域の食など特産品の魅力向上を通じた交流の拡大と関係人口の創出

■消費者視点や健康志向、地産地消等に着目し、地域の食など特産品の開発・発掘を進めます。

- 消費動向をリードする女性などの視点に立ち、「中丹女性伝道師」による指導・助言の下で新商品の開発や既存商品をブラッシュアップし、「京都中丹いちおし商品」としてフェア等で広域的に発信するとともに、販売者、消費者が一堂に会した販売交流会を開催し、販売促進、PRを図ります。
- 地域の食の魅力や認知度向上に取り組むとともに、DMOと連携し、野菜収穫や地元産の小麦粉を使ったパンづくり体験など、食に関係するコト消費を促進するための体験プログラムの創出を図ります。
- 万願寺甘とうのGI（地理的表示）保護制度を活用し、首都圏等へ魅力を発信します。
- 野生鳥獣を地域資源として有効活用し、品質管理を徹底する「京都中丹認証ジビエ」を推進し、令和3（2021）年度開始の「京都ジビエ」との連携により、知名度の向上、販売の促進を図ります。また、DMO等関係機関と連携しジビエフェアを行い、地域内外への更なる普及を進めます。
- 食の京都TABLE、農産物直売所及び道の駅の情報発信、スタンプラリーによるPR、イベント等への出展支援等を通じて、農林水産物の販売拡大を図ります。
- 地元産食材の利用を拡大するため、農業者と商工業者が連携した加工品開発・流通販売の促進を図るとともに、飲食店や学校給食における地産地消・旬産旬消や食品ロス削減の取組などの食育を進めます。

## ウ 京都舞鶴港海外航路等の活用による人流・物流の拡大

■港から地域への周遊強化など港湾施設の効果波及させます。

- クルーズ船の京都舞鶴港への寄港に当たって、DMO等との連携による船社への現地ツアープランの提案や、市や関係機関等との連携による港周辺部のまちなか滞在プログラムの創出・提供等を通じて、クルーズ客等の地域への回遊・観光消費拡大を促進します。（再掲）
- 長田野工業団地、長田野工業団地アネックス京都三和、綾部工業団地等におけるものづ

くり産業の集積や、京都舞鶴港・高速道路網等の社会基盤を生かした物流関連企業などの立地を促進するため、企業立地促進条例の特定産業集積促進制度の活用や、ディベロッパー（開発業者）と地域とのマッチングやコーディネートなどを通じて、新たな産業用地の確保と誘致企業の開拓を進めます。併せて、関係機関と連携して、地域の人材確保を図るとともに、雇用に伴う住宅等諸問題の解決に向けた取組を支援します。（再掲）

■国内外で展開する人流・物流に対応するため、港湾施設の機能強化を図ります。

- 取扱貨物量の増加や航路の拡充を見据えた舞鶴国際ふ頭における第2バースの整備促進とⅡ期整備を推進するとともに、大型クルーズ船の寄港に対応できる第2ふ頭の岸壁整備等を進めます。
- 京都舞鶴港から高速道路へのアクセス機能強化のため、国道27号（西舞鶴道路）、臨港道路上安久線等の道路整備を促進します。
- 前島ふ頭のフェリーターミナルの再整備を進めるなど、物流・人流の強化に向けた取組を進めます。

■京都舞鶴港のエコ・エネルギーポート化を推進します。

- 京都府北部でのガスパイプラインの整備をはじめ、京都舞鶴港におけるLNG基地整備や水素の利活用、日本海沖でのメタンハイドレートの開発など、国土強靱化・リダンダンシーにも資する日本海側におけるエネルギー拠点の整備を促進します。
- 京都舞鶴港に、災害時にも利用可能な太陽光などの再生可能エネルギー設備の導入を促進します。

## エ 人流・物流等を支える交通ネットワークの整備

■人流・物流や地域の生活を支える道路の整備を推進します。

- 京阪神等との交流を支える京都縦貫自動車道、舞鶴若狭自動車道の暫定2車線区間の4車線化整備を促進します。
- 京都縦貫自動車道の宮津天橋立ICから丹波IC間の西日本高速道路株式会社への移管を踏まえ、全国的な高速道路網と一体となった利用促進等を図ります。
- 京都舞鶴港や京都縦貫自動車道と舞鶴若狭自動車道が結節する北部エリアの物流拠点整備を促進します。
- 地域内を結ぶ高速道路網の活用に加えて、安全な交流活動を促進し、良好な市街地形成を図るため、福知山市・舞鶴市等の市街地間や綾部市の市街地外縁をつなぐ道路整備を推進します。（福知山綾部線（福知山市～綾部市）、小倉西舞鶴線白鳥トンネル（舞鶴市）、安場田野線、三俣綾部線、広野綾部線等（綾部市）ほか）

- より広域なエリアでの交流・連携を促進するため、府県間の道路整備を推進します。(国道429号榎バイパス(兵庫県丹波市青垣町～福知山市談)、小浜綾部線(綾部市五津合町))
- 移動手段の多様化による自転車利用の増加に対応するため、誘導ラインの設置や舗装の補修など、自転車の走行環境の整備を進めます。(福知山綾部線、綾部インター線、小浜綾部線、舞鶴和知線、余部下舞鶴港線、国道175号、舞鶴福知山線)

■ 利便性向上等により公共交通の活用を促進します。

- 地域住民や観光客の移動手段の確保・充実を図るため、JR山陰本線の高速化・全線複線化に向け取り組むとともに、ICカードの導入等による利用促進、JR福知山線・舞鶴線・小浜線、京都丹後鉄道宮福線・宮舞線への誘客促進を図ります。
- 京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会と連携し、路線バスやコミュニティバスなど生活交通の維持や、MaaS(目的地までの移動手段の検索・予約・決済を一括して行えるサービス)等公共交通利用拡大に向けた取組を通じて地域内の移動・交通手段の確保を支援します。